

基本情報						
教科・科目		高2 生物基礎（文系）		・授業で使用するもの 教科書：生物基礎 問題集：リードライト生物基礎 その他：授業プリント		
担当者		齋藤泰正、佐藤弘幸				
評価割合（試験：試験外）		試験：6      試験外：4		備考 ・定期試験は定期②、④、⑤の全3回です。 ・試験範囲は「生物基礎全範囲」とありますが、生徒の実力を見ながら変える可能性があります。あらかじめ試験前に発信をします。 ・生物と関連して化学基礎の内容を含むことがあります。		
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		教科書に出てくる単語、専門用語を確実に覚える。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		情報を精査して問題解決に取り込むことができる。思考を言語化して他者に伝えることができる。		
		探求・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		身につけた知識を活用することができる。課題を見つけて主体的に探究することができる。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		生物の共通性 細胞の特徴	共通の祖先からはじまる系統樹がかかる 動物・植物細胞の絵を描き分けられる	共通テストを意識した演習	・授業プリント ・実験、演習	・提出物 ・小テスト
5		エネルギーと代謝 酵素 DNA構造	ATPの構造が描ける 酵素とレセプターの関係が描ける DNAの構造を描ける			
6		遺伝情報の発現 遺伝子の本体 遺伝情報の分配	セントラルドグマを図で描ける 遺伝子発見に関する実験行程を描ける			
7		体液 循環形 免疫	血液の成分を描き分けることができる 血液の流れが描ける 免疫のシステムの絵を描ける			
7	定期試験② 令和8年 7月15日～7月17日 範囲）生物基礎全範囲(変更の可能性あり)					
9		ホルモン 自律神経 腎臓 肝臓	ホルモン分泌場所と作用する場所を描くことができる 腎臓と肝臓の構造を描くことができる	共通テストを意識した演習	・授業プリント ・実験、演習	・提出物 ・小テスト
10		体液の濃度調節 植生 遷移	植生の違いと遷移の流れを描くことができる			
11		バイオーム 生態系 物質循環	バイオームのグラフを描くことができる 物質循環の流れをグラフを描くことができる			
12		生態系のバランス	生態系の関係を図示することができる			
12	定期試験④ 令和8年 12月9日～12月11日 範囲）生物基礎全範囲(変更の可能性あり)					
1		共通テスト対策	共通テストの過去問で60%以上取れるようになる	共通テストを意識した演習	・授業プリント ・実験、演習	・提出物 ・小テスト
2						
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日～3月6日 範囲）生物基礎全範囲(変更の可能性あり)					